



地方独立行政法人

総合病院 国保旭中央病院

旭中央病院電子処方箋推進対応

これまでの経過と今後の展開

地方独立行政法人 総合病院 国保 旭中央病院

2024年10月8日～10日

電子処方箋取組経過 (1/2)

- ・ 2020.01 I BMに対して当院が電子処方箋初回導入施設になる様に打診実施
- ・ 2020.03 オンライン資格確認事業スタート (3/28) ⇒全国開始年月を10月に延期と発表された日
- ・ 2021.09 電子処方箋事業の2022年度実施に向けて院内事業予算化
- ・ 2022.04 電子処方箋稼働目標を2023年1月に設定し機能設計開始
- ・ 2022.07 電子処方箋モデル病院としてI BM経由にて打診 (2022年10月本稼働が条件)
- ・ 2022.10 データ送信のみを開始「モデル事業Step1」 (10/31)
- ・ 2022.12 電子処方箋発行を開始「モデル事業Step2」 (12/23) ⇒実患者は1/5から
- ・ 2023.04 モデル地域以外での電子処方箋事業開始

※稼働当初は電子処方箋発行時の電子カルテ操作が煩雑な状態 (ログインカードとHPKIカードを処方の際に置き換える必要があった) ため、実験的な発行止まりの状態が継続した

電子処方箋取組経過 (2/2)

- 2023.08 H P K I カードで電子カルテにログインできる機能が完成
- 2023.09 **マイナンバー**受付機と自動受付機の連動化開始 (6 台体制:9/25 ⇒ 1 2 台全台体制:10/11)
- 2023.10 電子カルテに**電子処方箋**発行希望情報の登録機能が完成 (10/11)

→ **自動電子処方箋**発行機能開始 (紙処方箋と電子処方箋の操作が完全同一)

- ・ 2023.10 理事長・病院長から職員向けに**電子処方箋**発行再啓蒙 (強めの啓蒙)
- ・ 2023.10 患者向けフライヤーの積極配布と**電子処方箋**希望聞き取り業務開始
- ・ 2023.12 一日単位での**電子処方箋**発行率40%達成日出現
- ・ 2024.04 一月平均での**電子処方箋**発行率40%達成

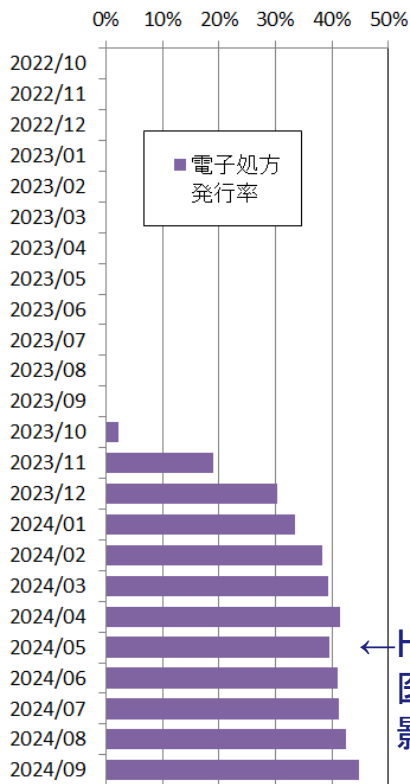
※2024.03より一月平均での**電子処方箋**発行率50%達成を目標として推進中。

現在、セカンドH P K I 対応・医療扶助者電子処方箋発行等、電子カルテベンダと順次共同設計推進中。

電子処方箋発行数変遷

2024年9月30日までの電子処方箋発行率遷移

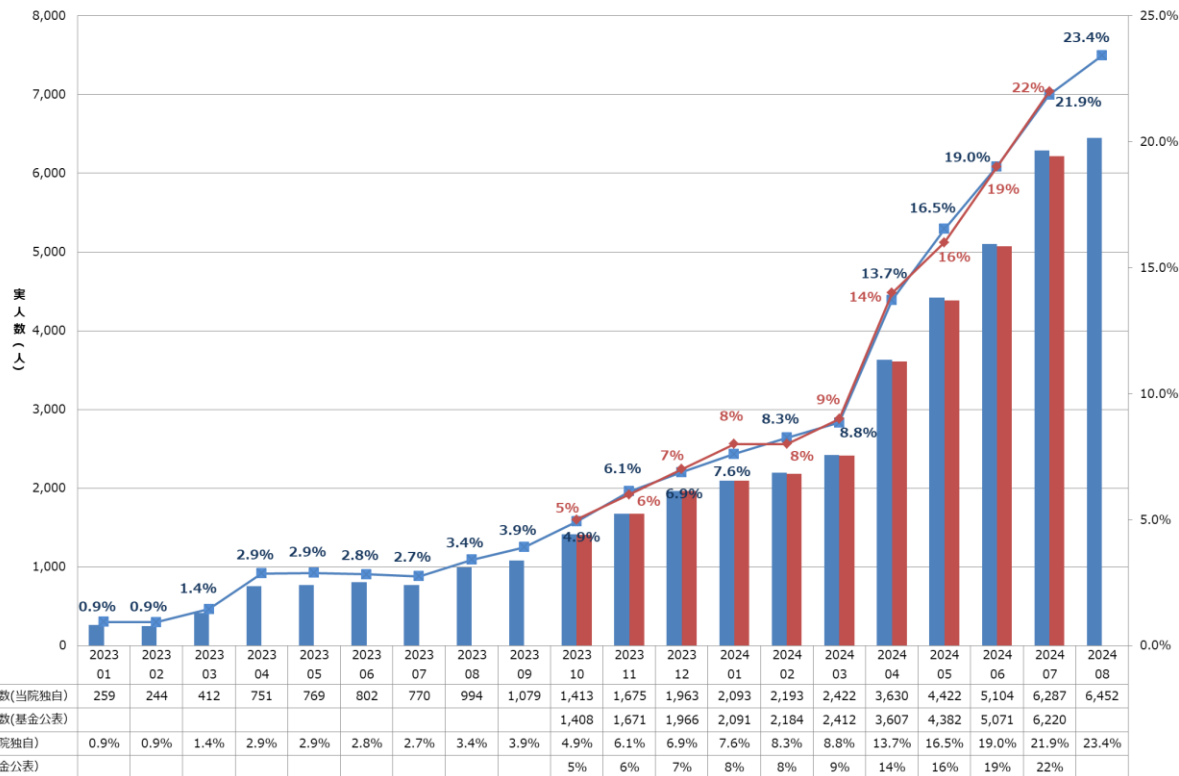
日付	A		B		B÷A	C		B÷C		電子処方箋対応数	
	外来 院内処方	外来 院外処方	うち 電子処方	電子処方 発行率	全国 電子処方	全国 占有率	医療機関	調剤薬局			
2022/10	103	947	0	0.00%							
2022/11	2,623	21,708	0	0.00%							
2022/12	3,013	22,505	2	0.01%							
2023/01	2,984	21,454	17	0.08%							
2023/02	2,053	20,079	26	0.13%							
2023/03	2,230	22,852	11	0.05%							
2023/04	2,072	20,897	7	0.03%							
2023/05	2,166	21,429	9	0.04%							
2023/06	2,046	22,526	8	0.04%							
2023/07	2,197	22,216	10	0.05%							
2023/08	2,297	23,751	12	0.05%	8,499	0.14%	559	5,729			
2023/09	2,128	21,607	24	0.11%	8,675	0.28%	615	6,513			
2023/10	2,296	22,820	522	2.29%	10,053	5.19%	685	7,466			
2023/11	2,195	21,311	4,061	19.06%	14,348	28.30%	743	9,433			
2023/12	2,129	23,215	7,021	30.24%	18,564	37.82%	833	10,435			
2024/01	2,173	22,297	7,471	33.51%	19,585	38.15%	944	11,547			
2024/02	2,146	21,234	8,144	38.35%	22,146	36.77%	1,067	13,294			
2024/03	2,140	21,287	8,351	39.23%	26,244	31.82%	1,930	17,494			
2024/04	2,261	21,060	8,736	41.48%	33,821	25.83%	2,233	18,904			
2024/05	2,280	21,480	8,509	39.61%	39,763	21.40%	2,479	20,220			
2024/06	1,992	20,666	8,471	40.99%	57,498	14.73%	2,820	22,061			
2024/07	2,462	23,048	9,476	41.11%	75,057	12.63%	3,258	23,814			
2024/08	2,280	22,066	9,396	42.58%							
2024/09	2,245	20,868	9,332	44.72%							



← HPKIを持たない
医師が外来に入る
影響(2024/05)

マイナ保険証利用率の推移（実人数ベース）

マイナ保険証利用率の推移（レセ件数ベース）



出典：医事課

公的病院は今年度中に半分以上が電子処方箋対応

病院団体		導入済		～R7.3		小計		～R8.6		中計		R8.7～又は未定		総計		
厚生労働省所管	旧国立等	NHO（国立病院機構）		4	3%	94	67%	98	70%	29	21%	127	91%	13	9%	140
		JCHO（地域医療機能推進機構）		3	5%	40	70%	43	75%	14	25%	57	100%	0	0%	57
		JOHAS（労働者健康安全機構）		4	13%	26	87%	30	100%	0	0%	30	100%	0	0%	30
		NC（国立高度専門医療研究センター）		0	0%	6	75%	6	75%	2	25%	8	100%	0	0%	8
	小計		11	5%	166	71%	177	75%	45	19%	222	94%	13	6%	235	
	その他	日本赤十字社		5	6%	62	69%	67	74%	17	19%	84	93%	6	7%	90
		済生会		3	4%	40	50%	43	54%	17	21%	60	75%	20	25%	80
		中計（厚生労働省所管）		19	5%	268	66%	287	71%	79	20%	366	90%	39	10%	405
他省庁所管	国立大学病院		3	7%	26	57%	29	63%	13	28%	42	91%	4	9%	46	
	公立大学病院		0	0%	5	28%	5	28%	8	44%	13	72%	5	28%	18	
	公立学校共済組合		1	13%	5	63%	6	75%	1	13%	7	88%	1	13%	8	
	KKR（国家公務員共済組合連合会）		4	13%	28	88%	32	100%	0	0%	32	100%	0	0%	32	
	JA厚生連（全国厚生農業協同組合連合会）		0	0%	27	28%	27	28%	21	22%	48	51%	47	49%	95	
	自衛隊病院		0	0%	1	11%	1	11%	6	67%	7	78%	2	22%	9	
	都道府県立病院		28	12%	63	27%	91	39%	47	20%	138	59%	97	41%	235	
	市区町村立病院		41	6%	222	34%	263	41%	134	21%	397	61%	250	39%	647	
小計（他省庁所管・関係）		77	7%	377	35%	454	42%	230	21%	684	63%	406	37%	1,090		
総計		96	6%	645	43%	741	50%	309	21%	1,050	70%	445	30%	1,495		

出典：厚生労働省 第3回 電子処方箋推進会議資料（令和6年9月11日） https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_43501.html

■ 当院ではHPKIカード認証を採用（スマートホン認証は開発中）

<HPKIカード認証の場合>

- 電子カルテ2要素認証のアイテムとして使える
- 1日1度、PINコードを入力すれば良い
- ICカードを資格証明書として使用できる
- 外来処方端末にICカードリーダーが必要
- ICカードがなかなか来ない
- 処方オーダー発行のたびにHPKIカードがICカードリーダー上に置かれている必要がある

<スマートホン認証の場合>

- 電子カルテ2要素認証のアイテムとして使える
- 1日に1度、スマホ生体認証を行えば良い
- 個人のスマートホンが利用できる
- サインインしたデバイスでなければならない
- スマートホンとHPKIの紐づけ支援が必要
- 病院で支給しているスマートホンは活用しにくい（SIMとの連動・MDM管理都合との競合など）

いずれの方式を採用してもHPKIカードの申請は必要になります。申請に対する支援策の検討も必要です。

院内職員向けの準備活動

医師のカルテ操作

医師

- 当院採用の電子処方箋操作フロー（処方オーダー発行時に資格情報を確認する方式）

紙処方箋従来操作

職員証を置いてログインする

患者を選択する

処方オーダーを発行する

処方箋が自動印刷される

処方箋に印鑑を押す

患者に渡す

職員証を外してログアウトする

電子処方箋操作(カード)

HPKIを置いてログインする

患者を選択する

処方オーダーを発行する

PINコードを入力(1日1回)

処方箋控えが自動印刷される

患者に渡す

HPKIを外してログアウトする

電子処方箋操作(スマホ)

職員証を置いてログインする

患者を選択する

処方オーダーを発行する

スマホ認証する(1日1回)

処方箋控えが自動印刷される

患者に渡す

職員証を外してログアウトする

■ 他院事例（2要素認証を兼ねた方式）

紙処方箋従来操作

IDとパスワードでログインする

患者を選択する

処方オーダーを発行する

処方箋が自動印刷される

処方箋に印鑑を押す

患者に渡す

ログアウトする

電子処方箋操作(カード)

HPKIを置いてログインする

PINコードを入力(1日1回)

患者を選択する

処方オーダーを発行する

処方箋控えが自動印刷される

患者に渡す

ログアウトする

電子処方箋操作(スマホ)

IDとパスワードでログインする

スマホ認証する(1日1回)

患者を選択する

処方オーダーを発行する

処方箋控えが自動印刷される

患者に渡す

ログアウトする

院内職員向けの準備活動

医師のカルテ操作

- 一般操作では外来処方オーダー入力時に **□電子処方箋** にチェックを入れるだけ

事務

医師

ソフト CIS ClipBoard お知らせ 終了

放射線科

最新表示 << 終了

電 医師 自科 D#0 全体に關係

メッセージ 外来患者 入院系オーダー発行不可 (外来モード)

プロフィール D#0 11/06 処方

分割調剤は、投与日数・服用開始日が同じ場合のみ可能です。

仮登録

投薬歴 DI検索 個別セット 全削除 薬品移動(RP内) ↑ ↓ ? 指定DO 一括指定 オーダー

薬剤削除 RP削除 持参薬取込 RP移動 ↑ ↓ 定期登録 チェック

外来院外処方 通常 □透析定期 1回量 1日量 □電子処方箋 □リフィル

RP01 [先]ジスロマック錠250mg 2 2 錠

RP02 分1 (朝)食後 11-06から3日分

[後]アズノールうがい液4% 5mL1瓶 (全量) 1 瓶

- 予め事務等が患者から電子処方箋の希望有無を確認してフラグを調整
「未：未確認」⇒「紙：紙処方箋」⇒「電：電子処方箋」⇒「未」の順で切り替わる。
電子処方箋希望の状態であれば「**□電子処方箋**」には自動でチェックが入る。
※事前に事務がサポートすることで医師は電子処方箋の有無を意識せずにオーダーが可能

院内職員向けの準備活動

運用フローの洗い出し

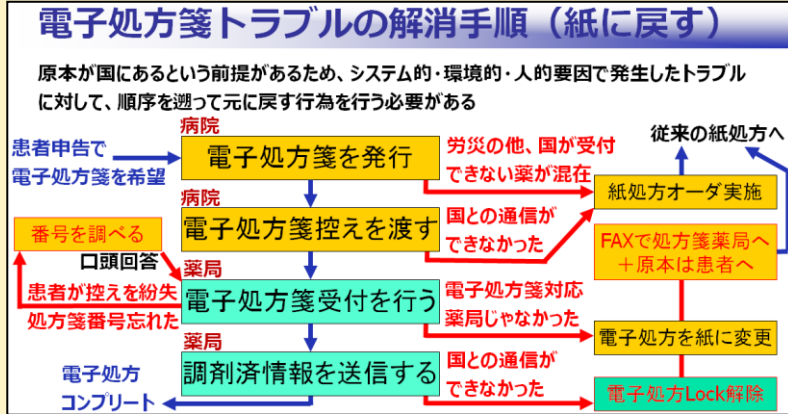
薬剤師

事務

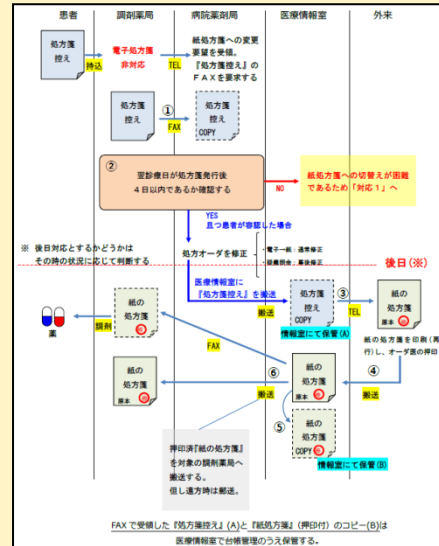
医師

- ・初めての事に対する職員不安
 - ・トラブル発生時の対処法がわからない場合における反発を懸念（特に疑義照会など）
- ⇒想定ケースパターンを全て開示し、追加で発生した想定外トラブルについても解決フローを全体に周知することで心的不安を解消するとよい

■解決策



運用開始前の職員説明会資料の一部



運用開始後に判明した
保険薬局の受付失敗時
対処フロー周知資料

薬剤師

- ・疑義照会の業務手順に対する情報は少ない

⇒電子処方箋になっても疑義照会による処方箋の再発行はありません

D o機能のために薬剤師が過去オーダを修正している運用も継続可能

(調剤薬局で受付済の場合、修正オーダを発行してもデータは受理されないため)

⇒データ上の原本は「医師のオーダ情報」と「調剤結果データ」の2つだけ

■運用上の例外

- ・患者が出向いた調剤薬局が「電子処方箋に対応していない時」「受付失敗時」に、病院側が紙処方箋を出し直す必要があります。

⇒調剤薬局にとっては実質ぶっつけ本番になるため不安が大きく、操作ミスも多いため
当院では診療圏内の調剤薬局が新規に電子処方箋に対応する場合にテスト処方発行して練習サポートを行っています。

紙処方箋と同様、患者が病院から既に離れた状態で医師がオーダ修正を行ってはなりません。

患者向け周知活動

事務

患者

■患者の反応

- ・ 電子処方箋という名称に対する忌避 ⇒ 「電子」なんてハイカラな物は扱えないと言われる
- ・ マイナンバーカード受付必須と誤解 ⇒ 受付や各科事務による丁寧な説明
- ・ 電子処方箋を受けた後の対応が不安 ⇒ 「FAX送信不要」といった運用の変化は与えない

■解決策

- ・ 便宜的に「新しい処方箋」と呼称している
- ・ パンフレットを全患者に1枚ずつ説明しながら手渡し
- ・ 広域医療圏内（半径30Km）の電子処方箋対応保険調剤薬局リストを開示
- ・ 処方後の手順は一切変更が無いと説明
特に「処方箋控え」の発行は手ぶらで薬局に行く患者の不安軽減に役立っている

患者向け周知活動

配布だけではダメ。要説明。

■フライヤーは内容を適宜変更しながら累計17万5000部発行

事務

患者

当院は電子処方せん発行対応施設です/
電子処方せん発行推進のため


電子処方せんの希望確認を実施しています

📍 かかりつけ薬局の確認をお願いします 📍

かかりつけ薬局が電子処方せんに対応しているか確認し、対応できる場合は、各科スタッフがお尋ねした際に「電子処方せん」を希望すると、お申し出ください。

マイナンバー受付機での「電子処方せんの希望」操作にかかわらず口頭で確認させていただきます。

※当院では「電子処方せん」をわかりやすくするために「新しい処方せん」と呼称することがございます。



電子処方せんになってもお薬の受け取り手順は変わりません。

下記の場合は、希望しても電子処方せんを発行できません

- 患者さんの保険証情報が電子処方せんに対応できていないとき
- 医師が電子処方せんを発行できないとき
- 救急外来で処方を受けるとき
- かかりつけ薬局が電子処方せんに対応していないとき

スマートフォンで近隣の電子処方せん対応薬局をチェックできます

厚生労働省による全国の薬局一覧はこちらからどうぞ

(近隣情報は各科掲示板にも掲示中)

地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院

マイナンバーカードで診察受付が行えます

📍 ぜひ、ご利用ください!! 📍

マイナンバーカード1枚で、診察受付とマイナンバー受付（オンライン保険証資格確認）が同時に行えます。

◆マイナンバーカードで受付するメリット

- 診察受付と保険証確認（公費等除く）が一度で完了します。
- 薬剤情報等の提供に同意すると、データに基づく適切な医療が受けられ、さらに健康保険証で受診した場合と比べて、初診時等の窓口負担が低くなります。
- 限度額情報の提供に同意すると、高額療養費の限度額を超える支払が免除されます。

◆マイナンバーカードで診察受付ができる方

- 2023年4月以降に当院の診療予約があった方
- 当院でマイナンバー受付をしてオンライン保険証資格確認を行ったことのある方

◆受付機の選択画面（画面の案内に従って操作してください）



マイナンバーカードでの受付

診察券・スマホ診察券での受付

※マイナンバー受付のみを行う機械については、今までどおり総合受付窓口を設置しております。（入院や検査のみの来院にご利用ください）

※ご不明な点は総合受付窓口・外来窓口へお問い合わせください。

地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院

患者向け周知活動

■ 広域医療圏内市町村の電子処方箋対応薬局リストの開示（各科・WEB・QRコード）

事務

患者

■ 野村広域圏 当院診療圏（半径30 Km以内）にある電子処方箋に対応する調剤薬局一覧 ※全診療科対象：2024年8月11日現在版			
野村広域圏	大田白百合市	八坂市	美濃真狩野市
野村広域圏 1 アイワイオー千鳥薬局 2 聖マリア薬局 3 赤石薬局 4 イオン薬局船中中央店 5 春日薬局船中店 6 徳田洋薬局 7 下みれ薬局船中店 8 そうごう薬局船中店 9 たかしん薬局サンモール店 10 たかしん薬局本店 11 調剤薬局ワットモリ洋生船中店 12 三多薬局船中店 13 日本製薬総研調剤船中店 14 日本製薬船中店 15 へいわどう薬局船中店 16 船日薬局船中店 17 船日薬局船中駅前店 18 船日薬局船中上店 19 船日薬局船中下店 20 マルモ薬局 21 ヤックスドラッグアワロン船中船中店 22 ヤックスドラッグアワロン船中船中店 23 ヤックスドラッグ船中船中店 24 ヤックスドラッグ船中船中店 25 ヤックスドラッグ船中船中店 26 ヤックスドラッグ船中船中店	大田白百合市 1 アイオン薬局船中店 2 アイワ薬局船中店 3 赤石薬局船中店 4 イオン薬局船中船中店 5 イオン薬局船中船中店 6 ウェルシア薬局船中船中店 7 ウェルシア薬局船中船中店 8 マリン薬局船中店 9 ヤックスドラッグアワロン船中船中店 10 ヤックスドラッグ船中船中店 11 ヤックスドラッグ船中船中店 12 ヤックスドラッグ船中船中店 13 ヤックスドラッグ船中船中店 14 ヤックスドラッグ船中船中店 15 ヤックスドラッグ船中船中店 16 ヤックスドラッグ船中船中店 17 ヤックスドラッグ船中船中店 18 ヤックスドラッグ船中船中店 19 ヤックスドラッグ船中船中店 20 ヤックスドラッグ船中船中店 21 ヤックスドラッグ船中船中店 22 ヤックスドラッグ船中船中店 23 ヤックスドラッグ船中船中店 24 ヤックスドラッグ船中船中店 25 ヤックスドラッグ船中船中店 26 ヤックスドラッグ船中船中店	八坂市 1 赤石薬局八坂店 2 船日薬局八坂店 3 船日薬局八坂店 4 船日薬局八坂店 5 船日薬局八坂店 6 船日薬局八坂店 7 船日薬局八坂店 8 船日薬局八坂店 9 船日薬局八坂店 10 船日薬局八坂店 11 船日薬局八坂店 12 船日薬局八坂店 13 船日薬局八坂店 14 船日薬局八坂店 15 船日薬局八坂店 16 船日薬局八坂店 17 船日薬局八坂店 18 船日薬局八坂店 19 船日薬局八坂店 20 船日薬局八坂店 21 船日薬局八坂店 22 船日薬局八坂店 23 船日薬局八坂店 24 船日薬局八坂店 25 船日薬局八坂店 26 船日薬局八坂店	美濃真狩野市 1 船日薬局 2 アイオン薬局船中店 3 赤石薬局船中店 4 赤石薬局船中店 5 船日薬局船中店 6 船日薬局船中店 7 船日薬局船中店 8 船日薬局船中店 9 船日薬局船中店 10 船日薬局船中店 11 船日薬局船中店 12 船日薬局船中店 13 船日薬局船中店 14 船日薬局船中店 15 船日薬局船中店 16 船日薬局船中店 17 船日薬局船中店 18 船日薬局船中店 19 船日薬局船中店 20 船日薬局船中店 21 船日薬局船中店 22 船日薬局船中店 23 船日薬局船中店 24 船日薬局船中店 25 船日薬局船中店 26 船日薬局船中店

毎週更新
当院WEBサイトにも掲載

患者向け周知活動

■ポスター掲示（総合受付・FAXコーナー・各科外来）

患者



※総合受付周辺

マイナンバー受付機と自動受付機の連動



↑ マイナンバー受付機との連結の様子

中にはPCとモニタを収納してUSB接続で制御→

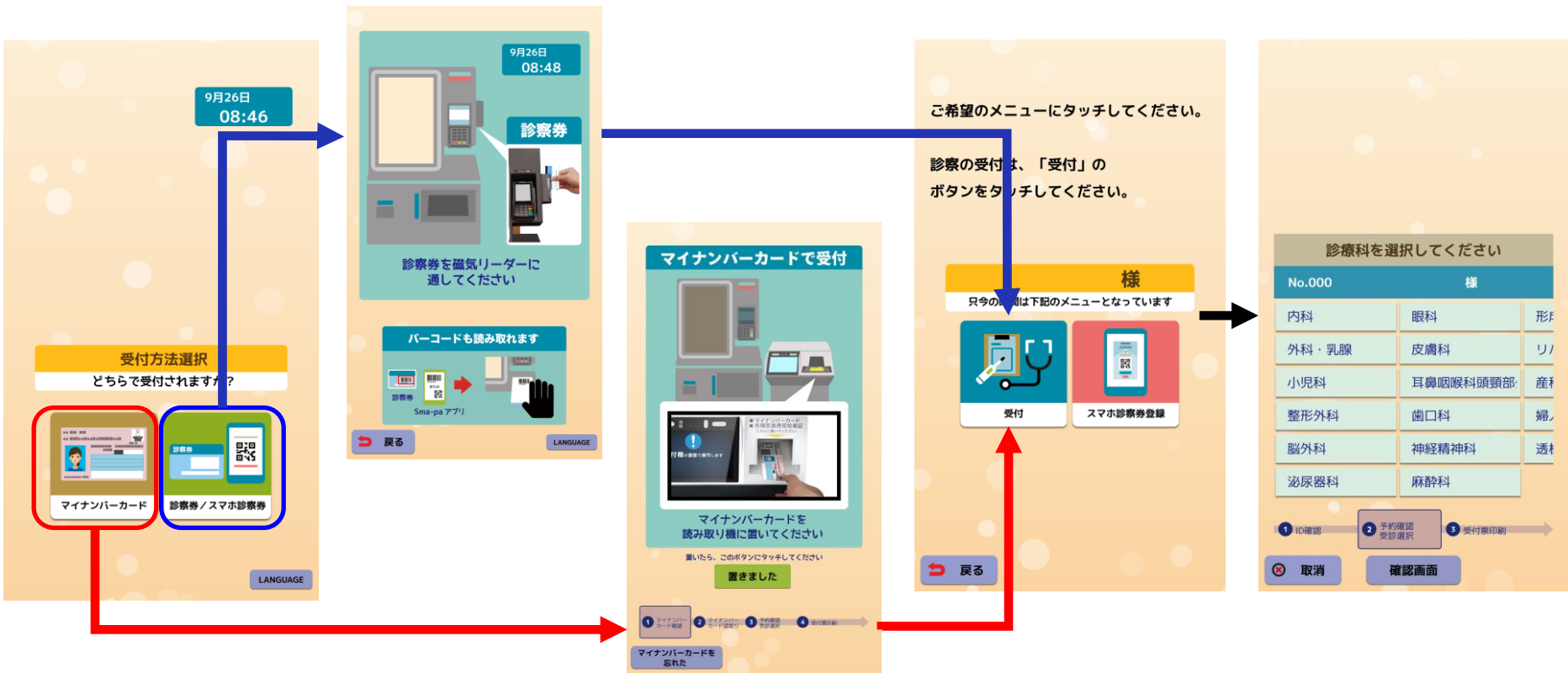


患者

マイナンバー受付機と自動受付機の連動

患者

・受付行列をマイナンバーと診察券で区分しない取組み



まとめ

■より普及を図るために

当院が実施してきた基本取組は「処方箋発行医」と「患者」に対して”**従来と変わらない**”環境の整備。
「電子処方箋発行を原則とする」宣言を近日中に実施できるよう、近隣薬局とともに推進していきたい。

<処方箋発行医>

- ・「紙処方箋」と「電子処方箋」のどちらも操作手順が同一
- ・4月～5月においてHPK Iカードを持たない医師が入職してくるため、電子処方箋発行率向上にブレーキがかかる事は抑止したい

<患者>

- ・「紙処方箋」と「処方箋控え」のどちらも受け取った後に薬をもらうまでの手順が同一
- ・FAXコーナーを使うのは患者の自由
「電子」や「ペーパーレス」と言った瞬間に話を聞いてくれなくなる。

PHR（導入予定）や電子お薬手帳と連動して処方箋の進捗が管理できるような充実策を検討中。
患者はリアルタイムに「処方箋の状況」を把握できる事で初めて「処方箋控え」をやめられる。

補足

当院でかかった費用（手探り運用による出戻りも若干あり）

■第2 Step（2023年1月）までの費用

（概ね差引2000万）

- ・ I社（カルテ） 800万 （電子カルテ改造）
- ・ N社（レセコン） 336万 （レセコンとオンライン資格確認部の改造）
- ・ E社 1040万 （ICカードリーダー制御：HPKIカードコントロール）
- ・ 諸費用 （HPKIテストカード、ポスター・チラシ・周辺薬局巡回、通信費）
- ・ 補助金 -162万 （厚労省ONS申請）
- ・ HPKIカード -200万 （厚労省モデル事業）

■今年度追加対応費用

（予想見込額2000万）

- ・ 新採HPKI代 66万 （病院負担：毎年120名）
- ・ A社+F社 960万 （マイナ受付連動費：マイナ受付機+ゲートウェイ端末+連携費）
- ・ I社 150万 開発中（コメントデータ送付方法変更・リフィル処方・口頭同意対応）
- ・ I社 ???万 開発中（セカンドHPKI：共同開発）

■翌年度以降見込

- ・ 新採HPKI 66万
- ・ 更新HPKI （2027年度は200万、28年度以降は60万を計上予定）
- ・ I社：マイナカード認証 （セカンド認証完了後に機能追加予定）
- ・ I社：他追加機能対応 （厚労省発表にあわせて可能な限り追従／PHR構築など）